

# 二分せず、全町民で運営する構想を

答 整備の議論は十分に行われた



大宜見 洋文 議員

**問** 何を実現するために町民体育館を建てるのか。

**町長** 学校の体育館は、あくまでも学校教育のための施設である。やむを得ず施設の開放という形で利用している。町民がいつでも利用出来るスポーツ振興のために整備していく。

**問** アリーナに係る建設費は幾らか。

**町長** 概算で14億5000万円である。

**問** アリーナで開催するイベントは、どういう内容で年に何回を想定しているか。

**町長** 内容は決まっていない。町主催のイベントや民間事業者主催のイベントが多数想定される。

**問** PFI導入可能性調査の説明で、事業範囲が周辺関連施設を含めた一体管理を希望する説明もあった。体育館だけでは経営が厳しいので周辺もまとめて管理させて欲しいという事か。

**町長** 黄金森公園内の野球場、陸上競技場、今回造る体育館を含めて包括的な管理、保守等が運営上も財政的にもいいということ提案する。

**問** スポーツ合宿キャンプ宿泊施設もセットに考えなかったのか。

**町長** 時間的、財政的な余裕もなく、運営は難しい。他市町村の宿泊施設でカバーできる。

**問** 町民を二分するのではなく、スポーツイベントなら体協、文化芸能なら文化協会、南風原高校や芸大の学生やOBの伝統芸能・琉舞ショー、琉球絃の見本市や展示会なら観光協会と、商工会を中心に町内既存組織が連携し、オール南風原町民で運営していく。全町民が誇りを持てるよう構想段階から作り直しては

どうか。

1-3 関係団体、市民参加等の取組み

- ◆H19 紫波町PPP推進協議会による調査(全国都市再生モデル調査事業)
  - ◎ 委員:23名(農林関係者と町民、行政)
  - ◎ 町民の意向調査
    - ① 町民意向調査 地区コミュニティ
    - ② 目的コミュニティ
    - ③ 施設意見交換
  - ◎ 民間企業意向調査
    - ④ ヒアリング調査
    - ⑤ 業種の意見交換の場
    - ⑥ アンケート調査(民間調査会社)
    - ⑦ 企業向シンポジウムの開催
  - ◎ PPP用ホームページを立ち上げ情報提供
- ◆H20 民間の意向調査
  - ◎ 町が、奥よんりん舎(TMO)に委託
  - ◎ よんりん舎と岡崎正信氏が、雇用契約を結ぶ
  - ◎ 紫波町企業立地研究会を設置
- ◆H20 町民の意向調査
  - ◎ 7月 座談会「公民連携によるまちづくり」
  - ◎ 11月 公民連携基本計画策定 意見交換会
  - ◎ 11月 職員対象説明会
  - ◎ ほか 目的・地域コミュニティ

© 2009-2016 TOWN SHIWA

岩手県紫波町は、町民意見交換会を100回実施！

**町長** 黄金森公園の整備計画の中で当初から議論されてきた。改めて去年、一昨年と検討委員会を立ち上げ議論をした。検討委員の希望、町民から寄せられた情報等が積み上げられ、町民体育館整備の議論は十分に行われた。

一こんな質問もしました

- 次年度の待機学童について
- 不登校児童生徒について
- 公共交通について
- 農福連携について